

## 平成22年度 第1回習志野市公民館運営審議会会議録（要旨）

出席委員 三幣委員 高橋委員 三橋委員 石田委員 清水委員 宗實委員  
佐藤委員 中村委員 中野委員

欠席委員 長澤委員

出席職員 植松教育長 藤田生涯学習部長 早瀬生涯学習部次長  
星社会教育課長 岡野菊田公民館長 内山大久保公民館長  
村上屋敷公民館長 穴倉実花公民館長 岡村袖ヶ浦公民館長  
佐々木谷津公民館長 鈴木新習志野公民館長

### 会議次第

- 1 委嘱状交付（進行：生涯学習部次長）
- ～ 開会 ～
- 2 教育長挨拶
- 3 委員自己紹介
- 4 職員紹介
- 5 公民館運営審議会委員の職務について
- 6 委員長・副委員長選出  
委員の互選により、会長に中野和寿子委員、副会長に佐藤志郎委員を選出
- 7 会長・副会長挨拶
- 8 議事録署名人選出  
会長から、三幣芳夫委員と高橋君江委員を指名

～ 議事 ～

#### (1) 平成22年度公民館の概要について

菊田公民館長より平成22年度公民館の概要について説明

～ 質疑 ～

委員

青年の事業についてですが、受講生募集にあたっては、難しいと思うが、何か検討した点  
はありますか。

菊田公民館長

平成22年度、青年については大学向けにPRし、10名位応募がありました。

委員

寿学級について、3～4年前から課題になっていますが、年齢構成のクラス分けについて  
検討されましたか。

菊田公民館長

年齢幅が大きく学習についていけない人は欠席する傾向であり、講座の展開が二重になるので予算など難しいというのが館長会での結論です。

委員

職員の配置状況について、分かる範囲でピーク時の人数について伺います。

菊田公民館長

ここ数年は31人前後で推移しています。

委員

利用状況について伺います。

菊田公民館長

講座の展開も工夫していますので、ここ数年増加しています。

因みに、平成20年度 利用回数 26,743回、利用人数 442,071人

平成21年度 利用回数 29,844回、利用人数 452,656人

利用回数、人数共に増加しています。

委員

全事業112、各館16事業あるが、22年度は予定通りの結果なのか、それ以上かを伺います。全体の中で、特によい、または目立った内容があれば知らせて頂きたい。

菊田公民館長

懸案事項の青年対象の企画は一応成功、大学への働きかけを行いました。

大久保公民館長

夏休み子ども講座として千葉工業大学の協力のもとにロボットキットを作ってパソコンで操作するというもので、広報掲載したところ大反響がありました。

屋敷公民館長

何でもトライという講座では、親御さんと子どもと一緒に田植えからお米を食べるという体験ができれば良いと思っていました。幸いほたる野の田んぼを借りて協力を得ながら、講座を始めることが出来ました。

実花公民館長

学校体育館を利用し、四中生のボランティアの協力を得、子どもチャレンジ大会を実施。

今までの講座・事業に磨きをかけるというのも一つの方法だと思います。

袖ヶ浦公民館長

袖ヶ浦の特徴を生かす内容として竹細工を選びました。地元の人材活用と育成を狙いに行っています。

谷津公民館長

寿学級は今年度60歳を少し超えた方が多く加入し、現在も継続して学級活動に参加しています。また、親と子のふれあい講座や子ども講座は、希望者が大変多く受講できない人がたくさんいます。

新習志野公民館長

平成21年度は夜間講座が好評で、平成22年度は健康志向をテーマに進めています。勤め帰りの人が公民館に来るようになればと日頃考えています。

(2) 子どもの居場所づくりについて

青少年課長より公民館で実施する子どもの居場所づくりについて説明

【説明概要】

子どもの居場所づくりの進捗状況をご説明します。放課後や週末に公民館幼児室等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点を設け地域の人々の参画を得て、心豊かに育ませる環境づくりを作ろうとするものです。公民館の幼児室等を活用し、放課後の時間帯において、一般サークルの利用しない時間帯に開放できる運営を、公民館長・社会教育課長と協議中です。

委員

これからの方向性としては、もう公民館しか方法がないのか、それを含めて今年度中にまとめ上げる予定でしょうか。

青少年課長

種々検討を加え、来年の4月からの実施に向け進めているところであります。

会長

一番大事なのは、子どもの安全であると思います。安全という事は、その責任体制を考えなくてはなりません。館長をはじめ公民館職員が子ども達にどこまで責任を持って関与するのか、子ども達の命に関わることなので、是非慎重に進めて頂きたい。

委員

本当に子どものことを考えるのであれば、早めに手を打つことが必要であると思います。

委員

本当の意味で子ども達の居場所を考えるなら、あまりお膳立てをしない方がよい。公民館を子どもたちが自由に使える環境は良いと思います。

生涯学習部次長

今後は、ボランティアとの連携も勘案しつつ実施していきたいと思います。こども会館の設置状況、学校校舎の使われ方にも配慮し、現況の中で公民館を含む方式で取り組んでいきたいと考えています。

会長

一番大事なのは、子どもの安全であると思います。安全という事は、その責任体制を考えなくてはなりません。館長をはじめ公民館職員が子ども達にどこまで責任を持って関与するのか、子ども達の命に関わることなので、是非慎重に進めて頂きたい。

(3) その他

①生涯学習相談員について

委員

生涯学習相談員の制度について、任命・役割等について伺います。

生涯学習部次長

任用については必ずしも学校長経験者とは限らず教頭職・一般教員・公民館長経験者が相談員になられた経過があります。相談業務だけではなく、例えば寿学級や学習圏会議などを担当していただいています。

②今後の公民館運営について

委員

今後の運営体制等について、その後の状況のお話を伺いたい。

生涯学習部次長

公民館運営審議会の答申を受け、地域運営型の公民館を1館設定し運営を図るというお話をしており、具体的な事柄について検討しています。

会長

大きな課題ですので、ひとつよろしく願いいたします。

他に質疑等ありませんので、これをもちまして、平成22年度第1回習志野市公民館運営審議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

～ 閉会 ～